

授業科目	児童英語教育入門				単位	2		
履 修	選択	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語)		ナンバリング	EN31502J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1 DP4-1 DP5-1 DP5-2			
担当教員	山崎 郁子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>2008年3月告示の小学校学習指導要領により2011年から、第5学年・第6学年に外国語活動(英語)が実施されている。そして、2017年7月に新学習指導要領で告示された「第3学年・第4学年からの外国語活動および第5学年・第6学年の外国語科」が2020年から完全実施された。</p> <p>本授業では、小学校における外国語活動・外国語科についてが学習指導要領を中心に解説を加えながら講義する。また、コアカリキュラムを参照して、指導に必要な理論的背景についても学んでいく。</p> <p>実務家教員として、小学校英語授業担当・学級担任の経験から学んだ小学生の学習の様子や他教科との関連などについて適宜触れるとともに、歌の紹介を通して、実際の子ども達への指導例を示したい。</p> <p>本授業の課題及びフィードバックの投稿・提出は Google Classroom にて行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校学習指導要領の概要が説明できる。 2. 小学校学習指導要領外国語活動・外国語科の内容が具体的に説明できる。 3. 小学校学習指導要領外国語活動・外国語科と中学校学習指導要領外国語の目標の違いが説明できる。 4. 小学校における外国語(英語)導入の背景が説明できる。 5. 英語教育全体における小学校英語教育の役割が説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	35	15	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	0		10	10	5		25	
知識・理解 (DP1-2)	0		5				5	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			20	15	5		40	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)					5		5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			10	5			15	
技能・表現 (DP5-2)			5	5			10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領の概要が説明できる。 ・小学校学習指導要領外国語活動・外国語科の内容が具体的に説明できる。 ・小学校学習指導要領外国語活動・外国語科と中学校学習指導要領外国語科の目標の違いを明確に説明できる。 ・小学校における外国語(英語)導入の背景が説明できる。 ・英語教育全体における小学校英語教育の役割が説明できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領の概要を理解できる。 ・小学校学習指導要領外国語活動・外国語科の内容の主な点を説明できる。 ・小学校学習指導要領外国語活動・外国語科と中学校学習指導要領外国語科の目標の違いを説明できる。 ・小学校における外国語(英語)導入の背景を理解できる。 ・英語教育全体における小学校英語教育の役割を理解できる。 				

る。				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>テーマ1: オリエンテーション</p> <p>・授業の流れや授業内容、授業ルール等の説明</p> <p>テーマ2:「小学校学習指導要領」</p> <p>・全般的な解説</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: 該当部分の復習</p>	30
2	<p>テーマ: 小学校学習指導要領外国語活動</p> <p>・小学校の外国語活動の目標、内容、指導計画と内容の取扱い等について解説する。</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: レポートの作成</p>	60
3	<p>テーマ: 小学校学習指導要領外国語科</p> <p>・小学校外国語科の目標、内容、指導計画と内容の取扱い等について解説する。</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: レポートの作成</p>	60
4	<p>テーマ: 中学校学習指導要領外国語科</p> <p>・中学校外国語科の目標、内容、指導計画と取扱い等について解説する。</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: レポートの作成</p>	60
5	<p>テーマ: 小学校における英語導入の背景</p> <p>・英語導入に至った歴史的背景について解説する。</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: 該当部分の復習</p>	60
6	<p>テーマ1: 課題発表</p> <p>テーマ2: 言語習得1</p> <p>・母語の習得に関する理論を解説する。</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: レポートの作成</p>	60
7	<p>テーマ1: 課題発表</p> <p>テーマ2: 言語習得2</p> <p>・第二言語習得に関する理論を解説する。</p>	講義	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: レポートの作成</p>	60
8	<p>テーマ1: 課題発表</p> <p>テーマ2: 国際理解教育と英語教育1</p> <p>・英語教育における国際理解教育の在り方と児童期にふさわしい国際理解教育について解説する。</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: 該当部分の復習</p>	60
9	<p>テーマ: 国際理解教育と英語教育2</p> <p>・英語教育における国際理解教育の在り方と児童期にふさわしい国際理解教育について考察する。</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: 該当部分の復習</p>	60
10	<p>テーマ: 指導者のための自己発音訓練法</p> <p>・児童期の英語教育における音声指導の重要性を解説し、指導者の自己発音訓練法を紹介する。</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: 発音訓練法の復習</p>	60
11	<p>テーマ1: 課題発表</p> <p>テーマ2: 指導者に望まれる資質</p> <p>・児童期の英語教育を担当する指導者に求められる知識と技能について考える。</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: 最終レポート課題作成</p>	60
12	<p>テーマ1: 課題発表</p> <p>テーマ2: Classroom English</p> <p>・Classroom Englishを使用することの意義とその練習方法を紹介する。</p>	講義 演習	<p>予習: 該当部分の予習</p> <p>復習: レポートの作成</p>	60

13	テーマ1:課題発表 テーマ2:さまざまな英語教授法と指導技術1 ・英語教育のさまざまな教授法と児童期に適した指導法について考える。	講義 演習	予習:該当部分の予習 復習:該当部分の復習	60
14	テーマ1:さまざまな英語教授法と指導技術2 ・英語教育のさまざまな教授法と児童期に適した指導法について考える。 テーマ2:授業観察1 ・英語教育先行実施校の授業を観察し、指導の様子を学ぶ。	講義 演習	予習:該当部分の予習 復習:該当部分の復習 最終レポート課題完成	60
15	テーマ:授業観察2 ・英語教育先行実施校の授業を観察し、指導の様子を学ぶ。	講義 演習		
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やニュース等で報道されている教育に関する最新の情報に関心を持つことが必要です。 ・授業で使用するワークシートには参考文献を掲載しています。各自でさらに理解を深めてください。 			
テキスト	『小学校英語 はじめる教科書』改訂版 吉田研作監修 小川隆夫・東仁美著(株)mpi 松香フォニックス 2021年 2420円(税込) ・予習・復習にも使用します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編』(平成29年)(文部科学省) 『中学校学習指導要領解説外国語編』(平成29年)(文部科学省) 『高等学校学習指導要領解説外国語編』(平成30年)(文部科学省)			

<p>授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌・TV やインターネット等で報じられる教育事情や日本を取り巻く世界情勢などの最新情報に敏感になりましょう。そして、これからの英語教育の進むべき方向について考えてみましょう。 ・課題及び授業のルール詳細について、第1回授業にて説明します。必ず出席してください。 ・オンラインツール使用時等指示された場合を除き、授業中、スマートフォンは使用できません。 ・授業の課題及びフィードバックの投稿・提出は Google classroom にて行います。授業登録後、速やかに、Google classroom の登録をしてください。
<p>達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は、レポート課題 50%、発表課題 35%、レポート外の提出物 15%で行います。 ・レポート課題、発表課題の内容については、授業内で説明します。 ・レポート外の提出物は、授業のフィードバックです。 ・第6回から第12回の授業において、課題発表を実施予定です。授業登録人数確定後、開始が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ・最終レポート課題は、第1回授業にて説明し、第11回にて提出仕様を説明します。 ・定期試験を実施しないため、課題発表・レポート課題の提出を重視します。